

生理・薬理学入門実習

2 単位 (選択) 1 年 (前期)

Basic practice for physiological and pharmacological research

玉置 俊晃(授業責任者)・教授/医学専攻 病態情報医学講座, 吉崎 和男・教授/医学専攻 病態予防医学講座

勢井 宏義・教授/医学専攻 情報統合医学講座, 佐野 敦子・, 水口 和生(授業責任者)・教授/大学院ヘルスパイオサイエンス研究部

【授業目的】生命科学研究の基礎となる生理学・薬理学研究法を習得するように指導する。

【授業概要】生命科学を研究する上で必要となる生理学・薬理学的研究法について、適応方法および結果の解析方法などの基本を指導する。Non-MD の大学院生については、生体内の調節機構、薬力学・薬物動態学などについても指導を行う。

(分光分析法, 磁気共鳴法, 電気生理学的研究法, 培養細胞法, 実験動物の扱い方, 行動生理学・薬理学的研究法, 無線による生体信号記録法, 腎微小循環研究法, 生体内活性酸素・フリーラジカル測定法, 細胞内情報伝達研究法, 臨床薬理学的研究方法など)

【授業方法】オムニバス方式

【履修上の注意】全ての実習に参加すること。実習のため、e-learning は利用できない。

【授業計画】

	大項目	中項目	担当
1.	授業ガイダンス+実験動物の扱い方		勢井宏義
2.	行動生理薬理学的研究法の概説		勢井宏義・佐野敦子
3~4.	ラット脳定位固定装置の操作, 慢性電極等の植込み手術の見学・実習体験		勢井・佐野
5~6.	上皮膜輸送の測定		吉崎和男
7~8.	磁気共鳴法		〃
9~10.	睡眠覚醒状態, 中枢作用薬の睡眠覚醒に対する効果などの記録及び解析		勢井・佐野
11~12.	タンパク定量法		玉置俊晃・森田恭二
13~15.	細胞損傷の研究	生存率測定法	玉置俊晃・水口和生・森田恭二

【成績評価】実習のレポートにて評価する

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217599>

【連絡先】

⇒ e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。